



植物の水ざし

今月の便り

室内の空気を入れ替えづらい冬は、室内に植物を置いている場合、健康面で多少の注意が必要です。葉にホコリが溜まっていたりベトベトしていないか、小さな虫がないか、鉢に濁った水がたまりっぱなしになっていないか、鉢に苔やカビが生えていないかなど。それらは体調の良くない人にとって良いことではありません。そんな忙しくてこまめな手入れができない人には水挿しがおすすめです。お気に入りの小さなカップに、アイビーなどお気に入りの観葉植物などをひと枝入れてテーブルに飾るだけで、植物好きさん達の気持ちは上がるものです。見えやすいところに置いて毎日の水仕事のついでにカップの水を変えるだけ。明るい室内で清潔な水に入ったグリーンは、ずっと元気な状態で春を迎えることでしょう。そのうち根が出て増やせるかもしれません。育てる初心者さんは、ぜひ小さくて清潔なグリーンをまず生活の中に取り入れてみてください。(きのした)

バラモンジン

バラモンジン(婆羅門参)は、キク科のバラモンジン属に属する植物で、学名は *Tragopogon porrifolius* (トラゴポゴン・ポリフォリウス) です。地中海沿岸地域が原産で、北米、日本、オーストラリア、ハワイなどに順次広がりました。和名はバラモンジンの他にムギナデシコとも呼ばれています。「バラモン」という言葉はインドの司祭を意味するサンスクリット語を基にしています。日本では明治時代に食用または観賞用として持ち込まれ、外来種として根付いたとされていますが北海道ではほとんど見かけず園芸店でまれに苗や種が売られています。高さは約 60cm から 120cm になり茎は無毛で光沢があり淡緑色が特徴です。バラモンジンの花は一般に枝先に一つずつ咲き、紫色の舌状花が直径約 5cm 程度で開花しますが朝咲くと昼頃には閉じてしまします。なので、ちょっと油断していると花を見逃してしまい、巨大なタンポポの綿毛のような種になっていることもあります。



ります。イギリスでは6月から9月にかけて開花し、日本では7月頃に花を咲かせます。英名はパープルサルシファイで西洋ゴボウと言われ根を野菜として食べます。見た目はゴボウにそっくりですが切ると白い粘質の液が出て、バターで炒めると牡蠣のような風味がでることから「オイスター・プランツ」とも呼ばれています。(いとう)

越冬中のバラ

冬越しに向けて例年通りの庭作業で、バラは葉巻り、枝の結束、こも掛けと積雪重量に耐えるべく什器を設置して準備万端の庭の中、馬年の新年は雪も少なく、寒さ厳しく少し雪が積もっても溶けるの繰り返しです。品種ごとに耐寒性が問題が無くても、寒風により枝の水分が奪われ、こも掛けで保護していないバラは、凍害が心配です。マルチングされていないバラの株元には、雪をかけるなど凍害対策も施したくなります。3月末までには雪も少なくなり、今度はこもの中の枝蒸れ被害と、自然の大きな力に翻弄されるバラ栽培です。2026年のバラ栽培の楽しみを想像しながら庭の中を眺めて、自分流の庭作り計画も冬場の楽しみにしたいものです。いわみざわ公園バラ園の各品種毎の冬用いの作業は、北海道でバラを栽培されている方々の参考にしていただきたいと思います。色彩館の中のランブラー・ローズもこの時期芽吹きが始まり、系統毎に順次開花が始まります。是非見学にお越しください。(たかはし)

今月の市民園芸講座のご案内



●2月7日(土) 折り紙でバラをつくろう 中級 10:00 ~ 12:00

参加費: 無料 定員: 15名 講師: バラ園スタッフ

持ち物: おりがみ 筆記用具

※お申し込みは講座開催月の1日9:00~電話で受付ております。

※最新の開催状況についてはお電話かホームページにてご確認ください。

電話: 0126-25-6111 ホームページ: <https://iwamizawa-park.com/>

※資料ご用意の都合上、なるべく事前のお申し込みをお願いいたします。

連絡なしの欠席・遅刻はお申込みをしたい方のご迷惑となりますのでご遠慮ください。

※換気の為、扉・窓等を開放いたします。悪天の際は暖かい格好でお越しください。

ひとつき ひとバラ



文： 小林 薫
(いわみざわ公園バラ園)

第百三十四回

番外編 大温室つるバラ①

今回から3号にわたり、3月中旬から5月下旬に見頃を迎える色彩館大温室のつるバラを特集します。屋外では越冬できない品種や、室内だからこそ、より楽しめる品種を揃えており、早咲きから遅咲きまで順に開花のリレーが続きます。最後にクイズもありますので、本紙を片手にぜひお出かけください。

① スヴニール ドゥ ラ マルメゾン *Souvenir de la Malmaison*

系統：ブルボン 作出国/年：フランス/1843 耐寒度：Z5 開花性：返り咲 香り：強香
特徴：温室の株は枝変わりのつる品種。品種名は「マルメゾンの思い出」の意味で、ナポレオン1世王妃ジョセフィーヌが愛した、マルメゾン宮殿のバラ園に因む。纖細なピンクの色合いと重ねの多い花容が美しい。雨に当たると傷みやすいので、温室内では屋外よりも良い状態で見ることができる。

② モッコウバラ（白八重） *Rosa banksiae alba*

③ モッコウバラ（黄八重） *Rosa banksiae lutea*

系統：原種 耐寒度：Z7-10 開花性：一季咲 香り：白八重 中香、黄八重 微香
特徴：名前は中国名の「木香花 (Mu Xiang Hua)」を音読みしたもの。樹木全体を覆いつくすように咲かせる様は大変華やか。性質が頑強でトゲも少ないため大変人気があるが、寒冷地での栽培は難しく、本州のような生育は望めない。大株で枝いっぱいに咲く様子が見られるのは温室栽培ならでは。

④ ヴァイオレット *Violette*

系統：ランブラー 作出国/年：フランス/1921 耐寒度：Z6-9 開花性：一季咲 香り：微香
特徴：同じく温室内に植わっている品種ファイルフェンブラウ (Veilchenblau) の実生。赤みがかった紫が咲き進むと青みが増してすみれ色になり、その変化も美しい。トゲは少なめで、強健で半日陰でも良く育つ。花色が冴える半日陰で、その美しい花色を最大限に楽しむことができる。

⑤ マーメイド Mermaid

系統：ハイブリッドブラクテアタ 作出国/年：イギリス/1917以前 耐寒度：Z7

開花性：返り咲き 香り：微香

特徴：交配親である原種「ロサ ブラクテアタ」は石垣島から台湾、中国南西部、南はフィリピンまで、世界の野ばらのうちで最も暖かい地域に自生している。耐寒性は低いため、北海道での屋外栽培は難しい。花保ちはあまり良くなく2~3日で散るが、散った後の黄金色の雄しべが残る姿も美しい。フランスの画家クロード・モネが愛したバラ。

⑥ ポールズヒマラヤンムスクランブラー Paul's Himalayan Musk Rambler

系統：ランブラー 作出国/年：イギリス/1916 耐寒度：Z4 開花性：一季咲 香り：中香

特徴：花付きが非常に多く、一気に開花する様は圧倒的な美しさがある。花色や咲き姿が桜を思わせる。耐病性、耐寒性に優れ、当園でも屋外で越冬している。ランブラー系統の中でも最も大型化する部類に属す。

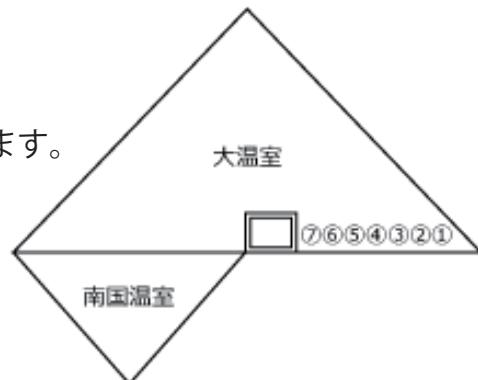
⑦ フェリシテ エペルペチュ Félicité et Perpétue

系統：ランブラー 作出国/年：フランス/1827 耐寒度：Z6-9 開花性：一季咲 香り：微香

特徴：蕾はピンクの球形だが、咲き進むにつれて純白になりその対比が可愛らしい。花弁が多く、3~4 cm 程の花が房となってポンポンのように咲く。耐寒性は普通のため、当園では屋内のみで栽培している。

今回ご紹介した7品種は、大温室入って右手に植わっています。

次号も引き続き、色彩館大温室のつるバラを特集します！



【いわみざわ公園 色彩館 つるばらクイズ（初級）】

- ① モッコウバラの白八重と黄色八重、どちらが香りが強いでしょう？
- ② ヴァイオレットの交配親で、色彩館に植えてあるのは何という品種でしょう？
- ③ ポールズヒマラヤンムスクランブラーの花姿は何の花に例えられるでしょう？

【いわみざわ公園 色彩館 つるばらクイズ（上級）】

- ① 「スヴニール ドゥ ラ マルメゾン」の枝変わりで、いわみざわ公園オールドローズの小径に植わっている半八重品種の名前は何でしょう？
- ② マーメイドは温度が高くても、ある条件が無いと開花しません。その条件とは？
- ③ フェリシテ エペルペチュの交配親とされているのは原種の「ロサ センペルヴィレンス」。ラテン語で「センペルヴィレンス」はなんという意味でしょう？

→答えは次号に掲載します！